



第3141回 例会

本日の
プログラム

平和の種をまこう—ひとりひとりのストーリー

地区パストガバナー、第1地域ロータリー財団コーディネーター補佐 出村知佳子氏

小さな思いやりが大きな力に-財団寄付と目標達成に向けて-

村田千尋 ロータリー財団委員長

ロータリー歴が浅い私がロータリー財団について卓話をさせていただくに際し、財団委員長を拝命されてから調べて知ったことも多く、情報不足の点もあるかと思います。梅澤会長からのご報告の通り本年度クラブ目標を掲げ、その目標を達成するためのロードマップについてご理解を深めていただける機会になれば幸いです。

まず初めに皆さんが誤解なくご理解をいただくうえで、ロータリー財団寄付金は強制ではなく、また会員へ無理なお願いをするものでもなく、それぞれ皆さまの心の中にある奉仕感や倫理感からの温かいお気持ちが寄付金となっておりますことをお伝え致します。

本日の骨子は3点です。1点目「ロータリー財団のアウトライン」、2点目「財団寄付金の流れに」、3点目はクラブ目標となっております「Every Rotarian Every Year Clubの認証」についてです。

1点目のロータリー財団のアウトラインについてですが、1917(大正6)年に第6代国際ロータリー(RI)アーチ・クランフ会長が「世界に良いことを」ということで寄付の皿をつくったのが始まりです。ロータリー財団はロータリークラブとは違う組織ですが、お互い共通の理念「奉仕の理想」を持ち、車の両輪のごとく世界中で活動しております。共通のキーワードは「健康」「教育」「貧困救済」が挙げられます。健康については、世界中に沢山の病気や感染症への予防や治療への支援等です。教育については、識字率が低い国・地域への支援です。貧困救済は文字通りの支援となり、世界がより理解し合い親善を図り、平和になるようにと願い、それを使命にロータリー財団は活動しております。この財団を支えているのが我々ロータリアンの財団寄付金です。我々がロータリー財団に寄付をする仕方が3種類あります。1つ目が「恒久寄付金」です。この寄付金の元本には手を付けず、運用益をもって奉仕活動に使用します。2つ目は「使途指定寄付金」で、有名なものは「ポリオプラス」です。3つ目は「年次寄付」です。年次寄付は累計されていき一定額を超えると財団より称号を受けられます。また寄付金控除対象となり税額控除を受けることができます。

2点目の財団寄付金の流れです。我々の寄付金はクラブからロータリー財団へ送られます。財団はすぐに奉仕活動に使わず3年間運用し、その翌年に実際の奉仕活動に使用します。我々が寄付した年度を「寄付年度」、実際に奉仕活動に使う年度を「プログラム年度」となっており、プログラム年度の始めに地区へ予算通知がきます。二つの補助金に分けられており、グローバル補助金と地区補助金です。我々が行う個別の奉仕事業は地区補助金を使用します。グローバル補助金は

地区が人道的プログラムを遂行しており、ロータリーが指定する重大な取り組みは大きく6項目の表題分類「紛争」「疫病」「水と衛生」「母子の健康」「識字率」「地域経済」されております。我々は20万円強の年会費を払っておりますが、それらの殆どはクラブ運営に使い奉仕活動の原資にはなりません。寄付が無ければロータリー財団は何もできず、我々の寄付が財団を支えております。そして寄付があるからこそ我々が奉仕活動に使用できる補助金があるということです。

3点目はクラブ目標にもなっておりますRIからのクラブ認証である「Every Rotarian Every Year Club」を受けることです。目標達成への道のりはシンプルです。正会員全員が年次基金にUS\$25以上を寄付することと、その合計寄付額を会員数で割り、クラブ平均寄付額がUS\$100以上になることです。会員全員がUS\$100の年次基金へ寄付いただければ達成です。各クラブにそれぞれカラーがあり寄付に積極的なクラブも消極的なクラブもあるのは事実です。東京以北で最大規模の人数を有する札幌東RCは地区活動にも多くの会員を出し、地区運営に協力的なクラブであります。財団寄付金の平均寄付額に関して地区内での順位は上位ではなく、前年度は会員数98名で計算され、年次基金目標額US\$9,800でしたが、平均寄付額が\$76.03で目標達成度76%でした。そこで歴史と伝統ある札幌東ロータリークラブとして名実ともに名誉・尊厳・地位を確立すべく設定した目標がこの“クラブ認証を受ける”ということです。全会員が一致団結しなければ成し遂げられませんが本年度でクラブ認証を受けられるよう丁寧にご説明をまいります。

本日のお話致しました内容をご理解いただき、来月の財団月間で目標達成が見えてくることを願っております。



■本日のロータリーソング

君が代、四つのテスト

2025-2026年度

国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長:フランチェスコ・アレツツォ

よいことの
ために
手を取りあおう